Cfan

-シー・ファン-

集う、繋がる、好きになる！

多治見市発 福祉のフリーマガジン

2026_AUTUMN
FREE ¥0
Vol. 10

障がいのある方々や高齢者、子どもたちの活躍や、
福祉に関して意識高くサポートしている企業や団体、
現場で働くスタッフなどを紹介します！











注目の特集

親子インタビュー
人とのつながりを力に変えて
相談支援専門員 須浪さん × 英語講師 下小瀬さん

Special interview /
就労継続支援A型事業所 TRID
フクシのお仕事魅力発見

C-fan
集う、繋がる、好きになる！
2026 AUTUMN Vol. 10
production by SMC-POWER

WEB版





CONTENTS

02 **特集1** 人とのつながりを力に変えて
相談支援専門員 **須浪眞知代**さん × 英語講師通訳 **下小瀬佳奈絵**さん

07 味噌汁作りに密着！ **はだし工房共同作業所**

09 「自分に合う働き方」は、きっとひとつじゃない。
就労継続支援B型事業所アンドワークス 代表 丹羽久美子さん

11 夢の可能性を広げる福祉車両改造 **有限会社夢工場**

13 **頼れる先が増えると、人生は今よりもっと自由になる**

14 **一歩で広がる新しい世界**

15 読者サポーター **伊藤家のみなさん**

17 **こころと身体の健康増進室**

18 **C-fan編集部 イベントニュース**
タジフェスVol.2ブース出展！／2027C-fanフェス開催！

19 **特集2 フクシのお仕事魅力発見** 就労継続支援A型事業所TRID（トリッド）
鈴木 由紀さん

21 **成瀬 功太朗**さん 就労継続支援A型事業所 TRID（トリッド）

23 **榎 誠**さん 就労継続支援B型事業所 ABivan（アビヴァン）

25 **読者参加企画** C-fanキャラクター名 決選投票！

TAJIMI　C-POWER

地域×福祉

つたえる、つたわる 魅力発信プロジェクト

多治見市の福祉が今よりもさらに良くなるように、皆様と一緒に考え、行動していきたいと思っています。
私たちは、「誰もが主役のまちづくり」を目指し、自立とは「頼れる先を増やし続けること」を目標に掲げ、さまざまな活動をしています。



C-fanは、このまちの魅力、頑張っている人、多治見の福祉の魅力をたくさん盛り込み、皆さまのもとにお届けします。

障がい者の「しごと」をつくる

障がいのある方が、住み慣れた地域で「個々の特性に応じて、安心して、長く働ける」ことを目的に、「働きたい」という気持ちに寄り添い、その気持ちに応えたい企業様とをつないでいます。

福祉業界の「はたらく」をつくる

福祉業界は人が足りていないと言われています。福祉の担い手を増やすために、福祉の多様性や仕事の魅力について、実際の働く現場から見えてくる創造性、感じる魅力や課題について発信します。

福祉とデザインの「モノづくり」

障がいのある方々がアートやイラストなどのモノづくりを自由に発信できる場所を提供し、新しいチャンスや道しるべとなる活動を行います。「作品を発信できる場所」と「経済的対価を得られる仕組み」の環境を整えています。

福祉コミュニティを「にぎやかに」

「バリアをなくそう多治見から」を合言葉に、バリアをなくしていく活動や、『自立』とは何か、また、『自立』を支えるためにどうしたらいいかを専門家と共に考え、やるべきことを具体的にしていく活動を行っています。

福祉・介護支援という特性上、状況においてソーシャルディスタンスを保てない場合や、掲載写真において撮影のためにマスクを外している場合がございますが、各事業所でコロナウィルス感染予防対策を行っております。ご理解の程よろしくお願いいたします。

巻頭特集

人とのつながりを力に変えて

相談支援専門員として、障がいのある子どもやご家族と関わる須浪さん。それと同時に、母親として病気のある娘さんの将来に悩み、向き合ってきました。娘の下小瀬さんも、病気と付き合いながら、カナダへの留学などさまざまなことに挑戦されています。親子それぞれの経験や思いを伺いました。



相談支援専門員
母 須浪（すなみ） 眞知代（まちよ）さん

英語講師・通訳
娘 下小瀬（しもこせ） 佳奈絵（かなえ）さん

須浪さんインタビュー



障害児保育との出会い

これまでどのようなお仕事をされてきたのか教えてください

愛知県で保育士、可児市で幼稚園教諭を務めた後、障害児保育を学び直し、土岐市の療育センターで21年間勤務していました。その後も障害児保育に携わり、相談支援の仕事を始めました。6年前からC-POWERグループの特定相談支援事業所「CSロープ」で相談支援専門員として、障害児の相談支援を中心に担当しています。

障害児保育の道に進んだきっかけはなんですか？

勤めていた幼稚園で、知的障害のあるお子さんと出会ったことがきっかけで、そのお子さんが通っていた療育センターを見学しました。そこで、先生が子どもたちの前で大きく体を動かしてみせると、それまで言葉での表現が少なかった子どもたちが「わーっ」と一斉に盛り上がる姿を目にしました。その様子を見て、「これが言葉で表現することが難しい子どもたちにとっての、言葉の始まりなんだ。ここから楽しいことが始まるんだ」と感じ、こんな素敵な療育があることに感動しました。このときのことは、今でも鮮明に覚えています。

療育センターで感じたことに加え、自分の娘にも病気があったことから、障がいのある子どもたちのために何かできることはないかと思うようになりました。その思いから幼稚園を辞め、36歳で1年間、障害児保育を学び直した後、療育センターで働き始めました。子どもたちと接する日々の中で、私自身もたくさんのことを学ばせてもらいました。そこで学んだことや経験は、現在、相談支援専門員としてお子さんやご家族と関わる中でも活かされています。

須浪さんが所属

C-POWERグループ
相談支援事業所
CSロープ

お困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください

お電話
0572-26-7973

ホームページ
https://csrop.jp/

つながりをつくり支援をつないでいく

相談支援専門員とはどのような仕事ですか？

私が担当している障害児の支援では、放課後等デイサービスや児童発達支援、短期入所などの福祉サービスを利用するための計画を立てています。必要な支援を整理し、そのお子さんやご家族に合ったサービスにつなげていくことが主な役割です。サービスの紹介や調整も行いながら、支援が途切れないようにしています。

支援計画を作るうえで大切にしていることはなんですか？

一番大切にしているのは、そのお子さ

んにとって居心地のよい場所かどうかということです。保護者の方が安心して預けられることも大切ですが、実際にお子さん本人が無理なく過ごせるかどうかを重視しています。施設ごとに特色が異なるため、保護者の方の希望も聞きながら、そのお子さんに合った場所を一緒に考えるようにしています。

この仕事の難しさを感じる場面はありますか？

保護者の方から初めてお話を伺う際、障がい名や障害者手帳の有無、知的な特性など、とても答えにくいことを確認しなければならない場面があります。本当に聞いていいのかなと迷うこともありますが、必要な支援につなげるためには大切な情報であるので、できるだけ丁寧に言葉を選びながら伺うようにしています。

保護者の方との信頼関係を築くために心掛けていることはありますか？

相談支援では、保護者の方と直接お会いできる回数がどうしても限られます。その中で信頼関係を築くのは簡単ではありませんが、※モニタリングをするための、訪問・来所・電話などの機会を大切にしながら、少しずつ信頼を積み重ねてきました。できるだけ利用先でのお子さんの様子を見て、その姿を保護者の方にも伝えることを心掛けています。

相談支援専門員の仕事の中で、印象に残っているエピソードを教えてください

とても印象に残っているのは、パニックのあるお子さんの支援です。複数の放課後等デイサービスに相談しても受け入れ先が見つからず、お母さんも精神的につらい状況でした。お子さんだけでなく、ご両親も安心して過ごせるように、私も「なんとか助けたい」という思いで、受け入れてくれる事業所を探して連絡を続けました。最後にご理解のある事業所とつながることができ、「問題ないよ」と受け入れていただけたときは、本当にうれしかったです。今では少しずつ利用も安定し、ご家族の安心にもつながっています。

どこに相談したらいいかわからない方へ伝えたいことはありますか？

まずは、一人で抱え込まないでほしいと思います。小さなお子さんであれば、勇気を出して、児童発達支援センターなど身近な相談先につながるところから始めていただけたらと思います。そして、その先も福祉とのつながりが途切れないように、必要な支援をつないでいくことが大切です。頼れる先は必ずあります。私もその一人として、ご家族が安心して相談できる存在でありたいと思っています。

娘と向き合いやりたいことを応援する

娘さんが希少疾患と分かったときどのようなお気持ちでしたか？

病気の名前も聞いたことがなく、治療法もないと告げられたときは、本当に頭が真っ白になりました。何がいけなかったのだろう、娘に申し訳ないという思いがありました。成長するにつれてどんな問題が起こるのかも分からず、これから先、娘に苦労をさせてしまうのだろうと不安でいっぱいでした。

親として、どのようなことで悩みましたか？

治療法がないと言われたときに、何に頼ったらいいんだろうという不安がありました。「治せるものなら治したい」という気持ちで、身体に良いと言われる水や電気マットなど、本当にいろいろなことを試しました。娘が中学1年生のときには、左右の脚のバランスを良くするために骨を延長する手術を受けることも決めました。本人は嫌だったと思いますが、「骨が伸びれば



※モニタリング……利用者の生活状況や心身の状態、家庭状況、サービス利用状況などを把握し、目標達成度や課題の変化を評価すること

良くなるかもしれない」と思い、娘のために決断しました。しかし、手術がうまくいかず、右足が動かしにくくなってしまいました。娘のためを思って決めた手術でしたが、かえってつらい思いをさせてしまったことに後悔がありました。

障害者手帳を取得するとき、葛藤はありましたか？

手術がうまくいかず、右足が動かしにくくなったことで、医師から障害者手帳を持ったほうがいいと言われました。もちろん葛藤はありました。障害者手帳を持つことで、この子にずっと「身体障害者」ということを背負わせてしまうのではないかと思い、とてもつらかったです。でも、当時の同僚に、「障害者手帳は親のものではなく、娘本人のためのものだよ」と言ってもらったことで、自分の考え方が変わりました。障害者手帳が将来の選択肢を広げたり、助けになったりするのであれば、娘のために必要なものとして受け止めようと思えるようになりました。



娘さんとの関わり方や支え方で意識したことはありますか？

障がいがあるかどうかに関わらず、自分でできることは自分でやる、ということを大切にしてきました。将来、一人で生きていく力が必要になると思っていたので、周りからは厳しいと言われることもありましたが、自分でできることを少しずつ増やしていけるようにという思いで関わってきました。

娘さんのやりたいことを応援するようになったきっかけはなんですか？

高校卒業後に娘から「自分の人生だから、後悔したくない。カナダへ留学に行きたい」とはっきり言われたことが大きかったです。もし骨折しても、手術をしてくれる先生がいるか分からない海外に送り出すことへの不安はもちろんありました。それでも、「後悔したくないなら、自分がしたいことをすればいいんじゃない？」と思い、できる限り応援しようと考えました。守るだけではなく、本人の人生を信じて応援することも大切なんだと思うようになりました。

下小瀬さんインタビュー



自分の人生だからやりたいことを

ご病気について教えてください

多発性内軟骨腫（オリエール病）という希少疾患で、私の場合は身体の左右両側の骨に腫瘍ができるタイプです。腫瘍が骨の成長を妨げたり、骨を変形させたりすることがあり、骨がもろくなりやすいのも特徴です。足に腫瘍があったため、成長とともに足の形が変わり、歩行のしづらさや、小さな段差、砂利道、長い距離を歩くことに難しさを感じることがあります。病気とはずっと付き合ってきたので、自分なりにうまく向き合いながら過ごしています。



子どもの頃を振り返って、つらかったことはありますか？

かけっこや遠足など、自分ではできると思っていたことも、親が心配したり、ドクターストップがかかったりしてできないことがあり、もどかしさを感じていました。でも今振り返ると、親や医師が止めてくれたことも、自分の身体を守るために必要なことだったのかなと思います。

自分の人生を後悔のないように生きたいと思うようになったきっかけを教えてください

親元から離れて生活したかったことや、親戚に英語を話せる人が多く、海外が身近だったことが大きかったと思います。カナダから帰国した叔母に「カナダでは、障がいがあっても空港で働いている人がいるんだよ。あなたも見てきた方がいい」と言われたことも印象に残っています。その言葉を聞いて、海外に行ってみたい、自分の人生だから後悔したくないと思うようになりました。

現在どのような活動をされていますか？

以前は幼稚園で英語の先生として働いていて、現在も子どもたちに関わる仕事を続けています。また、多治見市内と海外の企業から依頼を受け、企業とお客様とのやりとりの通訳をしています。通訳の仕事は、人との出会いやご縁の中で少しずつ広がっていきました。

仕事以外では、料理もライフワークのひとつとして続けています。無添加の食事を取り入れた料理教室を開催し、食を通して健康につながることを伝えています。

これから挑戦してみたいことはありますか？

自分と同じように障がいのある方が海外へ行ってみたいと思ったときに、少しでも力になれたらと思っています。現在、海外の障がいのある方や高齢の方へのサポートや福祉活動について情報交換を行う、国際福祉交流のボランティア活動に取り組んでいます。活動を通して得た情報を、海外で行われている福祉活動に興味のある企業や個人の方に共有し、つながりをつくっていきたいです。

読者へのメッセージ



人とのつながりを大切に

お子さんの将来に不安を感じているご家族へメッセージをお願いします

須浪　怖がらずに、まずは外に出て相談してみてほしいと思います。将来への不安はあって当然ですが、一人で抱え込まず、頼れる人や場所を探して、つながっていくことが大切です。最初の一歩には勇気がいりますが、その先で助けてくれる人や場所に出会えることもあると思います。

下小瀬　私が不安を感じないのは、友達や仕事など、外とのつながりがあるからだと感じています。できないと思っていることでも、助けを求め、誰かとつながる中で、少しずつできるようになることもあります。だからこそ、最初から「できない」と決めつけず、とりあえずやってみることが大切だと思います。「障がいがあるから」と意識しすぎず、頼れるところには頼りながら、自分の可能性を狭めすぎずに進んでいけたらいいのかなと思います。

指定生活介護事業所

はだし工房 共同作業所



はだし工房は、東濃特別支援学校(旧 東濃養護学校)に通っていた子どもたちの卒業後の活動の場として、親さんが集まって作った場所です。

〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町1647-788
- 開所日 月～金＋月1～2回土・祝
- 開所時間 9:00～16:00(土・日・祝は除く)
- TEL 0572-44-3401 ・FAX 0572-44-3404

工房の味噌汁作りに密着！

はだし工房では、お仕事以外にもさまざまな活動をしています。今回は味噌汁作りの様子をお届けします。

地域とのつながりづくりのために、利用者さんと一緒に近所の「おばあちゃん市」で買った野菜を調理したことをきっかけに、自分で作ったご飯を自分で食べる達成感を感じていただきたいという思いで、月2回、料理の時間を設けています。
味噌汁のほかにも、カレーやハンバーグ、おやつなど、さまざまな料理を作っています。



中村(なかむら) 友美(ともみ)さん

6 **お椀の用意** 人数分のお椀を用意します。



料理 楽しい！



おいしい！

みんなで いただきます！

協力して作った味噌汁は、はだし工房のなかまにも大好評でした！



調理START!



1 **ゴーヤのわたを取る**

スプーンでゴーヤのわたを取り、食べられる部分と食べられない部分を分けます。



2 **食材を切る**

支援員さんのサポートを受けながら、安全に気をつけてゴーヤやジャガイモを食べやすい大きさに切ります。

眞田 賢（さなだ けん）さん



3 **味噌を溶く**

ダマができないようによく混ぜながら味噌を溶かします。



高田 千速（たかだ ちはや）さん

4 **味見** 味噌の量がちょうどいいかみんなで味見をします。

ゴーヤ・ジャガイモ・ミニトマトは
はだし工房の畑で収穫！

5 **完成！**

ゴーヤ・ジャガイモ・ミニトマト・そうめんが入った味噌汁が完成！



利用者さん募集中！

はだし工房共同作業所では、
一緒に活動する仲間を募集しています。

人と交流したい、日中に活動できる場所がほしい方大歓迎！
見学・体験利用もできますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 TEL:0572-44-3401



詳細はホームページへ ▶▶

「自分に合う働き方」は、きっとひとつじゃない。



就労継続支援B型事業所 アンドワークス

代表 丹羽（にわ） 久美子（くみこ）さん



Q アンドワークスを立ち上げたきっかけを教えてください

東京で企業向けの展示会運営や研修事業などに携わった後、地元の岐阜に戻りました。子育てをする中で、「地域で求められ、自分の経験も活かせる仕事は何だろう」と考えていたときに、障害福祉の仕事に出会いました。

就労継続支援B型事業所は、利用者さんを支えることと、仕事を生み出すことの両方が必要です。これまでの経験を活かせると感じ、2019年に就労継続支援B型事業所アンドワークスを立ち上げました。



アンドワークスで運営している「あんどかふぇ」

ここでは利用者さんがコーヒー商品を製造しています

Q アンドワークスではどのような仕事を行っていますか？

コーヒーやチョコレート、雑貨など、自分たちでつくる商品を中心に、さまざまな仕事をしています。立ち上げた頃は企業さんからいただく内職が中心でしたが、「自分たちがつくったものが街に並ぶ仕事を増やしたい」と考え、少しずつ自主商品を増やしてきました。

目指しているのは、「福祉事業所の商品だから買う」のではなく、「おいしい」「かわいい」という理由で商品そのものを選んでもらうことです。自分が関わった商品が誰かに喜んでもらえることも、働くやりがいにつながると思っています。



お中元・お歳暮としても好評！
コーヒーギフトBOX



岐阜大学
社会システム経営学環
篠田ゼミ
×
イラストレーター
石田意志雄
×
アンドワークス

コラボ商品
岐阜大仏珈琲



オリジナル
デコレーション食器

Q 大切にしていることは何ですか？

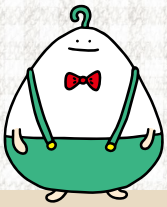
利用者さんは、得意なことも苦手なことも一人ひとり違います。だからこそ、全員が同じ仕事をすることを前提にしていません。「これはできない」と決めるのではなく、「どうしたらこの方にもできるだろう」と考えることを大切にしています。

ひとつの商品を完成させるためには、いくつもの作業があります。細かな作業が難しくても、別の作業なら力を発揮できることもある。仕事の中でひとつでも「できた」が増えることで、少しずつ自信につながっていく。そんなお手伝いをしていきたいです。

自分にできる仕事はある？

ちゃんと通い続けられるかな？

一般企業への就職を目指さないといけないの？



一人ひとりの『できる』を見つけ、仕事につなげる。アンドワークスの就労支援

代表の丹羽久美子さんに、
アンドワークスの仕事や支援について伺いました。

Q 働くことの「ゴール」はどのように考えていますか？

一般企業への就職を見据えながらも、そこへ向かう道のりや目標は一人ひとり違います。まずはアンドワークスへ継続して通うことを目標にする方もいれば、仕事や人との関わりを重ねながら、少しずつ働く力を身につけていく方もいます。「何のためにここへ通うのか」をご本人やご家族と話しながら、その方に必要な支援を一緒に考えています。

私たちが利用者さんの人生を変えるのではなく、主人公はあくまでご本人です。利用者さんが少しでも自分らしく過ごしていくための、きっかけづくりやサポートができたらと思っています。

一つひとつがすべて手作り
オリジナルだからこそ喜ばれます



Q これから事業所を探す方へ、伝えたいことはありますか？

仕事内容だけでなく、スタッフとの相性や施設の雰囲気、通いやすさも長く続けるためには大切な要素です。インターネットの情報だけでは分からないこともあります。気になる場所があれば、まずは見学したり、スタッフと話してみたりしてほしいですね。これまで長く続かなかった経験があっても、「自分には無理」と諦めてしまわずに、自分に合う場所を見つけてほしいと思います。

自分に合う働き方や場所は、ひとつではありません。「ここなら通えそう」と思える場所を、自分のペースで探してみてください。アンドワークスも、その選択肢のひとつになれたらうれしいです。

記念品やプレゼントとしてご利用いただいています！

詳しくはこちら

クラフトかごは季節感も楽しめます



Instagram　HP

運営会社 ウィンキャリア株式会社

〒500-8104 岐阜県岐阜市美園町4丁目28番地

アンドワークスは、「無理せず、自分のペースで働ける場所」「社会とつながる場所」を目指しています。

就労継続支援B型事業所
アンドワークス
〒500-8359
岐阜県岐阜市六条北4丁目16番14号
TEL｜058-216-4072　FAX｜058-216-4073

就労継続支援B型事業所
アンドワークスかんだまち
〒500-8833
岐阜県岐阜市神田町6-6
TEL｜058-201-4305　FAX｜058-201-4306

就労継続支援B型事業所
アンドワークスぎなん
〒501-6011
岐阜県羽島郡岐南町八剣北２丁目159番地
TEL｜058-216-1450　FAX｜058-216-1451

夢の可能性を広げる福祉車両改造

障がいがあっても自動車を運転したい。そんな思いを叶える「福祉車両改造」。愛知県知多半島・半田市の自動車販売店 有限会社夢工場では、運転補助や介助補助用の福祉車両改造を行なっています。事業を担う朝倉さんと岡田さんに福祉車両改造事業への思いを伺いました。

未来の選択肢を増やす

移動の可能性を広げる自動車販売店

朝倉　有限会社夢工場は、半田市を中心に中古車販売や買取、新車販売を行う自動車販売店です。近年は福祉車両改造、運転補助装置の取り付けにも力を入れ、お客様一人ひとりの身体状況や生活環境に合わせた「移動の自由」をサポートしています。

亡き妻の外出を遠慮する姿を見て始めた福祉車両改造

岡田　18年前に、妻をがんで亡くしました。闘病生活中、妻の両親が気分転換にと車いすの妻を外へ連れ出してくれていたのですが、車いすのままで車へ乗せ降ろしするのは高齢の両親にとって負担が大きく、腰を痛めてしまいました。妻はその様子を見て、だんだん気を遣うようになり、外出を遠慮することが増えていきました。

当時、自動車鈑金の会社に勤めていた私は、車いすのままで乗れる車両を探したり、自分で作る方法を調べたりしましたが、納期や不正改造の問題に直面し、間に合わないまま妻を見送ることになってしまいました。

あのとき何かできることはなかったのかと悔しさがずっと心に残り続けたまま必死に調べる中で、合法的に後付けで福祉車両に改造できる仕組みを知りました。このとき、「絶対この仕事をやってやるんだ」と心に誓い、福祉車両改造を始めました。

その後、ご縁があって朝倉代表と一緒に取り組んでいます。



テクニカルマイスター
福祉用具専門相談員
岡田（おかだ） 太郎（たろう）さん 57歳



代表取締役 朝倉（あさくら） 啓太（けいた）さん 31歳

車を通じて、一人ひとりのできること と

車を必要とする方の、さまざまな願い

岡田　障がいや病気があっても自分で移動したい方、仕事や通勤のために車の運転を諦めたくない方、身体の状態に合わせて今の車を使い続けたい方など、相談内容はさまざまです。お客様一人ひとりに合った装置をカスタムしてご提案しています。

「家族のために運転したい」その思いの先にあった輝く笑顔

岡田　バイク事故で下半身麻痺（まひ）となり、リハビリ中だった男性からのご相談が印象に残っています。家族のために働きたいから、車を運転したいとのことで、それまで乗られていた愛車に手動運転装置（手動レバーでアクセルとブレーキを操作する装置）を取り付ける改造をさせていただきました。

　最初にお問い合わせいただいた際は、とても落胆されている様子でしたが、改造の半年後に再びご来店されたときには、別人のように生き生きとされていました。あのときのお客様の輝く笑顔を見た瞬間、「この仕事をやってきて本当によかった」と心から思いましたし、私自身が逆に大きな勇気と情熱をいただきました。

お客様にとって本当に役立つ形を提案する

岡田　私が福祉車両改造で大事にしているのは、その方にとって本当に使える改造になっているかどうかです。ただ装置を付ければいいということではなく、「これならできる」「安心して使える」と、その先の暮らしまでイメージできる形にすることを心がけています。

　お客様へのヒアリングでは、お身体の状態だけでなく、できること・難しいこと、ご家族のことや駐車場の状況など、生活全体も含めて確認しています。本当に役立つ形を提案するために、丁寧に聞き取ることが大切ですね。

車を通して、自分らしい人生を選択できる社会へ

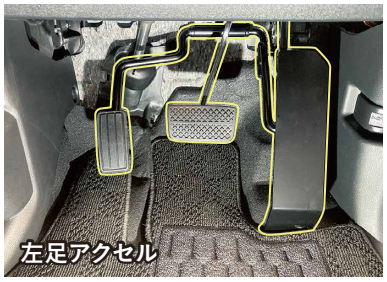
朝倉　福祉車両改造は、まだ十分に知られているとは言えません。福祉車両や運転補助装置について一人でも多くの人に知ってもらうために、拠点を広げながら、より相談しやすい体制をつくっていきたいと考えています。

　知ることで未来の選択肢は広がります。車を運転できることで、何かに挑戦したり夢を叶えたりと人生の可能性が広がっていくと思っています。車を通して、夢のお手伝いをしていきたいです。

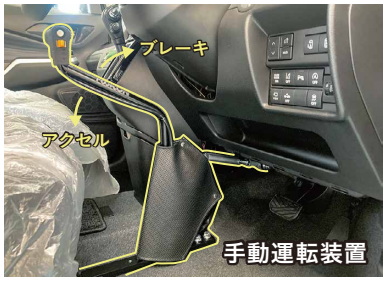
運転補助装置 取り付け事例



左手だけでハンドルとウインカーを操作できます



左足でアクセルとブレーキを操作できます



レバーを押すとブレーキがきき、レバーを引くとアクセルを操作できます

C-fanのInstagramでも取材の様子を発信予定！

他にも、手動サイドブレーキやペダル延長、介助補助・乗降補助用のアイテムなど、お客様のご希望に沿ってカスタムできます

DREAM FACTORY 夢工場
DREAM FACTORY 有限会社 夢工場

所在地　〒475-0837 愛知県半田市有楽町4丁目193
電話番号　0569-22-6648
営業時間　10:00〜18:00
定休日　水曜日
事業内容　新車販売　中古車販売・買取　福祉車両改造
損害保険代理店　とくし丸認定修理工場

中古車販売情報はこちら
TikTok
知多半島の車屋 あちゃくら

各装置の動作など福祉車両改造の詳細はホームページまで！

column vol.4

頼れる先が増えると、人生は今よりもっと自由になる

C-POWERグループ
代表取締役 肥田和明



「やってみたい」と言えた日、人生が動き出した。

― 私を前に進めた、あの一言 ―

WEBでもご覧いただけます

「和明は、本当は何をやりたいんだ？」

前回、引きこもっていた私に恩師がかけてくれたこの一言で、世界の見え方が変わったと書きました。今回は、その問いに答えるところから始まります。

■「分かろうとしてくれる人」の力

人生には「分かろうとしてくれる人」が必ずどこかに存在します。幼いころは家族がそうかもしれない。学校では先生や友達がそうかもしれない。社会に出ると、職場の仲間や先輩がそうかもしれない。今の私にとっては、C-POWERグループの社員がその存在です。ライフステージによって、その人が現れる場面は違います。けれど共通しているのは、その人がそばにいるだけで、「もう一度やってみよう」という気持ちが自然と湧いてくることです。挑戦したことが、すべてうまくいくとは限りません。むしろうまくいかないことのほうが多い。それでも、自分を信じて背中を押してくれる人がいることで、人は何度でも立ち上がれる。今振り返ると、そういう人が多くそばにいるうちに、できる限り早く挑戦することが大切だと実感しています。支えてくれる人がいるから、失敗が怖くなくなっていく。失敗してもまた立ち上がれるから、思い切って踏み出せるのです。

■「やってみたい」を、初めて声に出した

引きこもっていた私に、恩師が問いかけてくれました。「本当は何をやってみたいんだ？」私は正直に答えました。「パソコンで絵を描いてみたい」誰かに「やってみたいこと」を言ったのは、あのときが初めてでした。施設での18年間、自分の気持ちを問われたことはほとんどなく、その問い自体が特別でした。すると恩師は、こう言いました。「だったら、引きこもっていないで、やってみたいことを実現するために勉強しないとだめなんじゃないか？」その言葉に、ハッとしました。責められたわけでも、急かされたわけでもありません。「やってみたいなら、動け」という、シンプルで真っ直ぐな言葉でした。言い訳の入る余地がない。だからこそ、心に刺さりました。

■ 独学と、思わぬ収穫

翌日から、私は毎日パソコンを独学で学び始めました。誰かに言われたからではなく、自分が「やってみたい」と言ったからやる。その感覚が、初めて自分のものになった気がしました。また、恩師が商業の先生だったことから、簿記も教わることになりました。当初は「絵を描くのに簿記は関係ない」と正直思っていました。けれど恩師に言われるまま取り組み、日商簿記2級を取得しました。あれから30年。今、私は会社を経営しています。数字を読む力、お金の流れを把握する力、その土台があのときの簿記の学習にあることは間違いありません。「やってみたいこと」だけを追いかけていた私が、気づかないうちに経営者としての基礎を身につけていた。人生は、どこで何につながるか分からないものです。

あなたの「やってみたい」を一緒に探します

C-POWERグループ
特定相談支援事業所 CSロープ

TEL 0572-26-7973

受付時間 月～金 9:00～18:00

メールフォーム

相談支援専門員／吉田（よしだ）・菅原（すがわら）・須浪（すなみ）

一人で抱え込まず、まず声に出してみてください。

次回は、養護学校を卒業してデザインの専門学校へ入学した、あの日の話をします。

コラム

一歩で広がる 新しい世界 vol.3

この連載では、高校生活や分身ロボットOriHimeとの出会いを通して、私の世界が広がっていった体験をお届けします。読者の皆さんにとっても、新しい選択肢や視野が広がるきっかけになれば嬉しいです。



C-fan編集部

安田梨紗

Risa Yasuda

愛知県刈谷市出身の高校2年生。皮膚の難病・表皮水疱症と付き合いながら通信制高校に通う。就労体験をきっかけに興味を持った、分身ロボットOriHimeで世界を広げている。

OriHimeは日本国内だけでなく、海外ともつながることができます。そこで今回は、OriHimeを通してニューヨークに訪れたときの体験についてご紹介します。

ニューヨークに行くことになった経緯

以前から、いつかOriHimeで海外に行ってみたいと思っていました。そんな中、ニューヨーク在住でOriHimeを使ってさまざまな場所へ出かけている方とつながり、ニューヨークを訪れる機会が何度もありました。その中でも私が特に見てみたいと思っていた「自由の女神像」へ連れて行っていただきました。

実際の体験

フェリーに乗って自由の女神が見える場所まで移動しました。フェリーに乗ること自体も新鮮で、ゆったりと時間が流れていく感覚でした。橋や建物を眺めていると、連れて行ってくださっている方が「この橋は日本でいう明治時代に造られたものだよ」などと歴史や文化を教えてくださって勉強にもなり、楽しくお話しすることができました。別のフェリーに乗り換える際、フェリー乗り場にお土産屋さんがあり、自由の女神のキーホルダーなどを見るのもワクワクしました。別のフェリーに乗り換えてしばらくすると、ようやく自由の女神が見えてきました。実際に見ることができたときは嬉しくて興奮しました。お天気もよく、青空と海、そして自由の女神という景色は感動しました。OriHimeからでも姿がしっかりと見えて、連れて行ってくださった方と喜びを共有することができました。



かわいいグッズがたくさんありました



立派な橋でした

海外ならではの体験

ニューヨークに連れて行ってくださるまでは、海外に行ったことがなく、時差を体感するのも初めてで最初は戸惑いました。でも、何度も行くにつれて慣れてきて時間帯の違いを楽しめるようになりました。この時は、ニューヨークの朝の時間帯に行ったのですが、日本にいる私は夜の寝る前でした。OriHimeでニューヨークに行った直後に就寝するということは、OriHimeだからこそ実現する体験だと思いました。

また、ニューヨークの文化や、歴史や街並みの特徴についても知ることができ、さらに世界が広がっていると感じます。

OriHimeを通して世界中とつながることができる、という可能性を感じられるお出かけになりました。

次回もOriHimeでニューヨークを訪れた体験をご紹介する予定です。ぜひ楽しみにしていてください。



読者サポーターとは？

メディアづくりに関するアンケート、情報提供、イベント参加や商品・サービスモニターなど、一緒に「C-fan」を盛り上げていただく方々です。ご協力いただける方を募集中です！

interview

伊藤家のみなさん

読者サポーターの伊藤家の皆さんに、ご家族との生活についてお話を伺いました。



友波さんについて

Profile

伊藤 友波さん

年齢
11歳

学校・学年
東濃特別支援学校 小学部 6年生

障がい・病名
小児交互性片麻痺

友波さんはどんな性格ですか？

父 今は反抗期真っ只中ですが、好奇心が旺盛で、少し慎重なところもあり、周りのことをすごくよく見ています。

母 人懐っこいので可愛がってもらえることも多く、人との距離の取り方も友波なりに分かっているのかなと思います。

好きなことは何ですか？

父 本がすごく好きで、プレゼントもおもちゃより本のほうが喜んでいます。食べ物の本なんかもよく見ています。かまってもらうのも好きですが、一人で楽しむ時間も好きな子だと思います。

学校ではどんなことを楽しんでいますか？

母 何でも楽しんでいると思います。家ではできないようなこともさせてもらえるので、特に水遊び、校庭遊び、音楽が好きで楽しんでいるようです。先生の紙芝居も好きで、自分から反応してアピールしたりもします。小さい頃から一緒の友だちと過ごしているので、喧嘩しながらも仲良くやっています。

障がいについて

小児交互性片麻痺について教えてください

父 脱力、けいれん、硬直、眼振があるのと、身体面や知的発達がゆっくりであることが特徴です。生まれた日から発作があり、生後1年くらいまでは救急車を呼んだり、自ら病院まで連れていきそのまま入院することが度々ありました。希少疾患なので、様々な検査を経てようやく病名がわかったという感じでした。

? 小児交互性片麻痺とは

生後18ヶ月までに発症することが多い、100万人に一人ほどの珍しい神経の病気で、体の右側・左側のどちらかに、突然力が入りにくくなる発作を繰り返す特徴があります。
発作のたびに症状が出る側が変わることがあり、ときには両側に症状が出ることもあります。眠っている間は症状がおさまることも、この病気の特徴のひとつです。

主な症状

発作性麻痺	体の片側、または両側が動かしにくくなる発作が、数分から1週間以上続くことがある。
不随意運動	ジストニア(異常な筋緊張)、コレオアテトーゼ(不規則な動き)、眼球振盪などが見られる。
自律神経症状	発汗、皮膚の色の変化、体温調節の乱れなどが見られる。
発達遅延・知的障害	繰り返す発作や神経機能の不全により、運動や言葉の発達に遅れが見られることがある。

日常生活で困ることはありますか？

父　一番は、発作がいつ起こるか分からないことです。朝元気に学校へ行っても、途中で体調が悪くなり、そのまま引き返すこともありました。外出先でも同じで、楽しみにしていても急に体調が変わってしまうことがあります。

母　成長はゆっくりですが、最近体も大きくなってきたので、抱っこや移動が大変になってきました。

周囲の人に知ってほしいことはありますか？

母　障がいと一言でいっても、本当にいろいろあるということですね。よく知られている障がいもあれば、あまり知られていない障がいもあるし、それぞれに異なる特性や生活上の困りごとがあります。だから、「いろんな人がいるんだよ」ということを知ってもらえたらと思います。

友波さんの成長を感じるのはどんなときですか？

母　最近だと、一番の変化はトイレですね。オムツではなくトイレで排泄できるようになってきました。身長も伸び、知恵もついてきたなと思います。周りを良く見ていて、この人はたくさん遊んでくれる、この人は安心できる、ということを感じ取っているように思います。そうやって相手との関わり方を自分なりに見つけているところに、成長を感じています。



将来について

お子さんの将来について考えていることはありますか？

父　まずは高校を卒業した後、どこかの事業所につながり、楽しい毎日を過ごしてくれたらいいなと思っています。毎日通えるだけの体力や元気がついてくれたらいいですね。もし可能なら、自分で何か作業をして、お金を稼ぐことができたら、それもすごくいいなと思います。

将来に対して不安に感じていることはありますか？

母　まだ、そこまで先のことははっきり見えていないというのが正直なところです。

　高等部を卒業して、その先どういう場所につながっていくのか、まずはそこまでかなと思っています。自分たちがいなくなった後のことまで、今はまだ具体的には考えきれておらず、分からないことが不安、という感じです。

記事を読んでいる方に伝えたいことを教えてください

母　障がいのある子がいる家庭は、「大変そう」「かわいそう」と思われがちかもしれません。もちろん大変なことがないわけではありませんが、私たちは意外と普通に生活していますし、この子たちが生まれてきてくれたからこそ知ることができた世界もたくさんあります。受け取り方の違いはあっても、子育てはきっとみんなそれぞれに大変なものだと思っています。

父　友波は重度の医療的ケア児ではありますが、睡眠時は症状が出にくいため、夜中もずっと見ていなければならないというわけではありません。同じような立場の人や、ほかのご家族の暮らし方を見ると、うちは比較的楽な方なのかなと感じています。

　ほかの人がどのように暮らしているのか、どんな工夫をしているのかを知ることは、自分が少しでも前向きになるためにとても大切です。

　私たちが誰かの一歩を踏み出すきっかけになればいいなと思います。

「Cfan」を楽しみながら一緒に盛り上げてくれる
読者サポーター大募集！
読者サポーターの概要やご応募はこちらから！

こころと身体の健康増進室
FILE 009



ワレンダ要因とは？
～「する目標」を立てましょう～

みなさんは「ワレンダ要因」をご存知でしょうか？「ワレンダ要因」とは、目標に目を向けると成功しやすいという心理学的な効果です。

今回は「ワレンダ要因」についてエピソードを交じえながら、わかりやすく解説します。

失敗を意識すると失敗に導かれる

ワレンダ要因のもとになったのが、カール・ワレンダという綱渡りで有名な軽業師（かるわざし）です。彼は73歳のとき、高さ37メートルの綱渡りの挑戦中に転落死したとされています。事故の後、彼の妻はこう語りました。「これまでカールは綱を渡りきることしか考えていませんでした。しかしその日は落ちないことに意識を向けていたのです」と。

このエピソードから、「成功に意識を向け続けると本当に成功しやすく、失敗に意識を向け続けると失敗しやすい」という心理学的な効果に「ワレンダ要因」という名前が付けられました。

たとえば、人前で緊張しがちな人が、発表会の前に「緊張しない」という目標を立て、「緊張しないぞ」と意識すると、かえって緊張感を高めてしまうように、そうなりたくないことを口にしたりイメージしたりしていると、逆にそうなってしまうということです。



ワレンダ要因を応用した目標設定

このワレンダ要因を目標設定に応用すると、「しない目標ではなく、する目標を立てる」ということになります。

たとえば、「子どもを怒鳴らない」ではなく、「1日3回褒める」や「1日1回抱きしめる」というような具体的な目標に置き換える。このように「しない目標」を「する目標」に変えてみるのです。

もちろん、目標を立てるときには、「こんな問題が起こるかもしれない」「こんなリスクがある」と起こり得る問題をあらかじめ予想しておくことは必要です。ただ、リスクばかりに目を向けてしまうと、目標を達成すること自体が苦しくなってしまいます。だからこそ、いったんやろうと決めたのであれば、うまくいかなかったらどうしようと考えるのはやめて、成功している自分の姿をイメージし、それをイメージし続けることが大切なのです。

「する」「できる」と考えることが成功への近道

悩みや苦しみが深いとき、つらくて何もできなくなってしまうこともあるかもしれません。しかし、つらい出来事に意識を向けるだけでは、どんどん苦しくなって夢も希望もなくしてしまいます。

こんなときには「問題が起こったことは仕方がない」と捉（とら）え「とりあえず何をしようか」と考えてみましょう。そして、やってみようと決めたことに対して「きっとうまくいくはず」「誰かに喜んでもらいたい」とイメージして取り組んでみましょう。

「する」「できる」と考えることが成功の近道なのです。

ブース出展

タジフェス

TAJIFES Vol.2



日時 2026.11.8(日)
10:00～19:00

会場 JR多治見駅北口 虎渓用水広場

岐阜県多治見市で学生が創る音楽フェス「タジフェス」。
今年も多治見駅北で、楽しいステージや企画を開催！
C-fanは**C-fanカフェ**と**車いす体験ブース**を出展します。
音楽を楽しみながら、C-fanブースにもお越しください！

C-fanブース

C-fanカフェ

ドリンクを楽しみながら、
ゆっくりひと休みしませんか？
お手頃価格の軽食・ドリンクを
ご用意しています！

車いす体験

車いすに乗って、スロープを
移動してみよう！乗ってみる
と新たな発見があるかも？
ご参加お待ちしています！

前夜祭



世界のごはん万博
2026年11月7日(土)
10:00～18:00

C-fan EVENT NEWS C-fan EVENT NEWS C-fan EVENT NEWS C-fan EVENT NEWS

イベント開催

みいつけたっ！まちのたからもの
入場無料
-第2回-
C-fanフェス

お楽しみ企画を準備中！
子どもも大人もおじいちゃんおばあちゃんも集まれ！

ステージイベント
- ダンス
- トーク・講演会
- パフォーマンス
- 高校生によるステージ

展示コーナー
- 地域の皆さんの作品
- 企業クイズ
- 地域団体の紹介展示
- C-fanにまつわる展示

体験コーナー
- れいんぼーペイント
- ボードゲーム
- ダンボール工作
- C-fanお仕事体験
- 福祉ネイル

＼第1回C-fanフェスの様子／





日時 2027
2.12(金)13(土)14(日)
10:00～16:00

スタンプラリーも開催！

会場 ヤマカまなびパーク 1階・5階・7階
〒507-0034 岐阜県多治見市豊岡町1-55

Instagram
C-fanフェスの詳細・
最新情報はこちらから！

特集

フクシのお仕事魅力発見

事業所スタッフにインタビュー！

Staff interview

アシスタントさん一人ひとりの自主性を尊重し、安心して挑戦できる環境づくりを大切にしています。

事業所の紹介をお願いします

トリッドは一般就労したいけれど、一般企業で働くことに不安やハードルを感じている方に向けて、就労に必要なスキルを身につけるための訓練や働く場所を提供している就労継続支援A型事業所です。

雇用契約を結んで働くので、給料が保証され、雇用保険にも入るため、安心して働ける環境だと思います。

どんな方がTRIDで働いていますか？

トリッドでは、身体障害、知的障害、精神障害、難病など、さまざまな方が働いています。

障害者手帳がなくても、自立支援医療受給者証や医師の診断書があれば働ける場合があるので、難病の方や障害手帳をお持ちでない方でもご相談いただけます。

福祉の仕事を始めたきっかけを教えてください

大学生のときのアルバイトやサークル活動で、障がいのある方と関わる機会が多くあり、障害福祉という新しい世界があることを知りました。次第に興味を持つようになり、障がいのある方と関わる仕事をしたいと思うようになりました。

TRIDを選んだ理由を教えてください

子どもが保育園に入ったタイミングで、自分も働きたいと思い、これまでの福祉職の経験が活かせる仕事を探していました。トリッドを見学したときに一般企業に近い雰囲気の中で、どのように支援しているのか知りたいと思ったのと、新しい経験ができると感じ、応募しました。



トリッドでは
利用者さんのことを
「アシスタント」という愛称で
お呼びしています



一人ひとりの役割はデザインされる TRID

就労継続支援A型事業所 TRID 支援員

鈴木 由紀さん

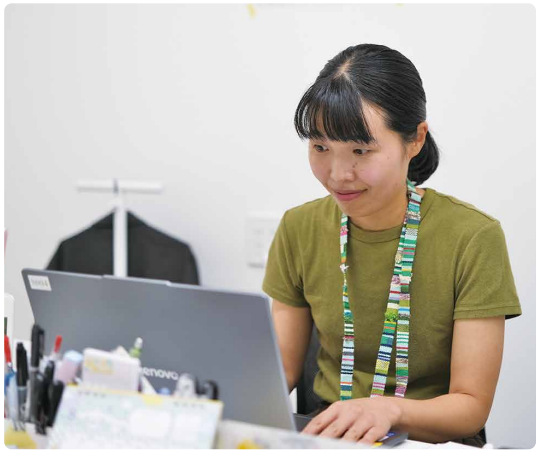
Yuki Suzuki

今回のスタッフインタビューはこの方！
アシスタントさんがステップアップできるように見守りながら、
働きやすく、挑戦しやすい環境作りをしている支援員の鈴木さんに
仕事への思いやこれからの目標についてお話を伺いました。

支援するうえで大切にしていることを教えてください

支援しすぎないことを大切にしています。アシスタントさんが困っている様子があっても、すぐに声をかけ、先回りするのではなく、本人が自分でどうすればいいかを考えられるように見守ることを意識しています。

また、支援員全員が同じ方向を向いて支援することも大切にしています。一人の支援員が良いと思ってしたことでも、ほかの支援員が同じように対応できなければ、結果的に本人のためにならないこともあります。だからこそ、情報を共有して、一貫した支援をすることを心がけています。



安心して働ける環境のためにどんなことをしていますか？

「失敗はしてもいい」ということを皆さんにお伝えしています。失敗を恐れるのではなく、失敗しても次どうしたらいいかを考えられるようになることで、働きやすくなると考えています。

今後の目標を教えてください

サービス管理責任者の資格を取得することが目標です。資格を取得して、よりできることを増やしていきたいと思っています。外部の人から「トリッドの鈴木さんだ」と認知してもらえるようになりたいです。

事業所の利用を考えている方へメッセージをお願いします

不安に感じるのは、みんな同じだと思います。まずは誰かと一緒でもいいので、見学に来てみてください。電話をするのが不安なら、誰かに頼ってお願いしてみても大丈夫です。

どんな形でもいいので、まずは一歩動いてみてほしいです。トリッドでは、いつでも見学や体験をお待ちしております。

Profile



所属年数
32歳 ｜ 所属 1年4ヶ月

趣味・休日の過ごし方
子どもと踏切を見に行く
M-1グランプリを見る

鈴木さんの業務内容

- **アシスタントとの関わり** … 聞き取りや見守りを行い、必要以上に手を出さない「やりすぎない支援」を大切にしています。
- **アシスタントのモニタリング** … 日々の様子や変化を確認し、個別支援計画の作成・見直しにつなげます。
- **相談員さんとの連携** … アシスタントの様子に変化があった際などに情報を共有し合い生活全体を支える支援につなげます。
- **情報共有・ミーティング** … 支援員同士で情報を共有し、チームで同じ方向を向いて一貫した支援ができるようにします。
- **支援方法の検討** … 不安が大きくなったときや困りごとがあった際に、どのような声かけや関わりが必要かを考えます。

利用者さん大募集中！

TRIDは、身体・知的・精神に課題のある方が、
働きながら自分の役割を見つけ、やりがいを見出し、
一般就労へステップアップしていくための
就労継続支援A型事業所です。
体験・見学からお気軽にご応募ください。

詳しい情報はWEBにてご確認ください！

お問い合わせ 0572-26-8088



一般就労・ステップアップを目指している方大歓迎！



インタビューに答えてくださったのは…

TRIDでは
利用者さんのことを
アシスタントと
お呼びしています

就労継続支援A型事業所 TRID

アシスタント

成瀬（なるせ） 功太朗（こうたろう）さん

24歳 ｜ 所属 3ヶ月



Profile

障がい うつ状態

好きなこと
ゲーム、コーヒーを淹れること

趣味・休日の過ごし方
朝にコーヒーを淹れる、美術館に行く

イラスト制作などの仕事に向き合いながら、自分らしい働き方を少しずつ見つけている成瀬さん。新しい仕事に挑戦しながら見えてきたことと、今後の目標について伺いました。

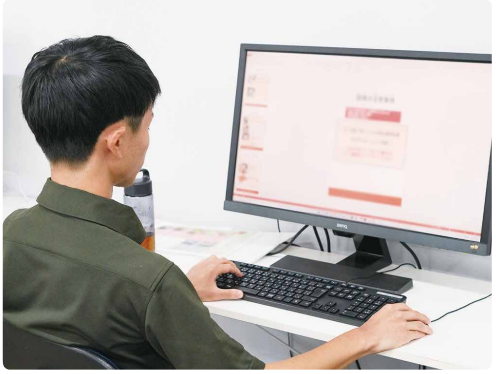
TRIDを知ったきっかけと入る決め手を教えてください

転職活動をしていく中で、一般就労だけでなく就労支援という道も考えるようになりました。トリッドもその流れの中で知り、自分が次に進むきっかけになるかもしれないと思い、入社することを決めました。

普段どんなお仕事をしていますか？

Adobe（アドビ） Illustrator（イラストレーター）※を使って、主にトリッドのSNS用の画像とイラストを作る仕事をしています。他のアシスタントさんが作成した原稿をもとに、イラストを用いてわかりやすく伝えられるように意識して画像を作っています。

また、トリッドが運営に携わっているC-fanカフェのマニュアル作成も行いました。PowerPoint（パワーポイント）を使って、画像やレシピをわかりやすくまとめて作成しました。



※Adobe Illustrator（アドビ イラストレーター）：
イラストや画像デザインなどを作成するためのソフト

TRID

就労継続支援（しゅうろうけいぞくしえん）A型事業所（がたじぎょうしょ）
TRID（トリッド）

〒507-0038
岐阜県多治見市白山町4-43-1
TEL：0572-26-8088

就労継続支援A型事業所とは

就労継続支援A型事業所は障がいにより企業への就職が困難な方へ、雇用契約に基づく就労機会を提供するとともに生産活動を通して、その知識と能力に必要な訓練などを提供する事業所です。

TRIDの特徴

1人ひとりが笑顔で「自立」した人生を送れるように、就労を通じてともに働く仲間を支援しています。
アシスタント（利用者さん）が自らの力で前を向いて進めるようになるために、自信を持てる環境づくりをしています。

事業所見学会・交流会「テミル」 開催
どなたでも参加可能！
ぜひお問い合わせください！▶▶

得意な作業や楽しいと感じる瞬間はありますか？

今は、いろいろな仕事に取り組んで、少しずつできることを増やしているところです。

イラストもほぼ未経験から始めましたが、過去にゲーム制作や素材づくりをしていた経験の中で身につけた発想や感覚は、今の仕事にも活きていると思います。自分が作りたいイラストを作れるようになるために、編集ソフトの使い方を把握できるよう勉強しています。ソフトのこの機能を工夫して使えば、うまくイラストに活用できるのではないかと調べながら少しずつ形にしていく過程にも達成感があります。



ご自身が成長できたと感じることはありますか？

成長と言っていいのかわかりませんが、自分を客観視できるようになったと思います。

うつ状態になると視野が狭くなりやすいのですが、過去のことも含めて、ただ気にするだけではなく、「これはこういうことだったのかもしれない」と考えられるようになってきました。そういう意味では、トリッドに入ったことは、自分を見つめ直すいいきっかけになったと思っています。

今後の目標を教えてください

まずは、自分がこれから進む方向を明確にしたいと思っています。将来のことが何も見えていないわけではないのですが、たくさんある選択肢の中で、どの方向に行くかはまだ明確にできていません。

クリエイティブな分野や、自分のペースで集中して進められる仕事のような自分がやってみたい仕事のことや、自分を客観視して見えてきたこと、自分や家族の状況などを、照らし合わせて整理することで、これから方向性を決めていきたいです。

働くことに不安がある方へ一言お願いします

自分の気持ちには正直でいてほしいなと思います。周りの意見が気になったり、立場のある人の言葉に迷ったりすることもあると思いますが、そんなときこそ、自分はどう感じているのかを大切にしてほしいなと思います。人の言葉から学ぶことはもちろんありますが、強い言葉に引っ張られすぎず、少しでも自分の気持ちを優先できるようになると、少し心が軽くなることもあると思います。



挑戦を重ね、自分に合う働き方を探していく

TRID支援員から

仕事の精度が高く、安心して任せられます。落ち着いた雰囲気があり、話すと和やかでユニークな面もある魅力のある方です。





ABivanでは
利用者さんのことを
クルーと
お呼びしています

インタビューに答えてくださったのは…

就労継続支援B型事業所 ABivan

クルー

榎誠（えのきまこと）さん

52歳 | 所属 2年



Profile

障がい
脳出血による右半身麻痺
高次脳機能障害

好きなこと
映画鑑賞、ゲーム、写真撮影、散歩

趣味・休日の過ごし方
外に出かけて、花などの写真を撮る

真剣に仕事に向き合いながら、毎日の通所を続けている榎さん。今回は、ABivanでの作業や現在挑戦していること、これからの目標についてお話を伺いました。

ABivanを知ったきっかけと通所の決め手を教えてください

以前はデイサービスに通いながら、別の就労継続支援B型事業所を利用していました。もっと働きたいと思っていたところで、相談支援専門員の方とのご縁でアビヴァンを知り、さまざまな仕事に取り組んだり、体を動かしたりできる環境に魅力を感じて通所を決めました。現在は、毎日休まず通所することが自分のペースになっています。



ABivanではどのような作業をしていますか？

普段は、さまざまな製品の検品や掃除、チラシや新聞紙を使った緩衝材作りなどに取り組んでいます。中でも緩衝材を作ることが得意で、チラシの面白いイラストや見せたい部分が表面の中央にくるように狙いながら、形やバランスを見て丁寧に作っています。

ABivan（アビヴァン）
就労継続支援B型事業所（しゅうろうけいぞくしえんがたじぎょうしょ）
ABivan（アビヴァン）

〒507-0048
岐阜県多治見市池田町1-78
TEL：080-7156-1149

就労継続支援B型事業所とは

就労継続支援B型事業所は障がいにより企業への就職が困難な方へ、就労機会を提供するとともに生産活動を通して、その知識と能力に必要な訓練などを提供する事業所です。

ABivanの特徴

クルーの能力や才能を活かしながら、新しいアイデアや変革を先導し、雇用され続ける人財になれるよう支援しています。
B型事業所はのんびり過ぎるけど、A型事業所に通うのは心配。そんな方にピッタリの就労継続支援B型事業所です。



今できることを大切に、一歩ずつ前へ

働くうえで大切にしていることはありますか？

何事にもまっすぐ、「真剣味」を持って取り組むことを大切にしています。また、作業の手を止めない程度に周りの人と話すなど、コミュニケーションをとることも大事にしています。



榎さんの
緩衝材ができるまで

榎さんが今、挑戦していることはありますか？

アビヴァンでの作業では、どの仕事もスムーズにこなせるようになることを目標に取り組んでいます。

プライベートでは、何か新しいことができないかなと思い、陶器の置き物づくりなど、ものづくりに挑戦しています。2024年には、セラミックパーク美濃で行われた「アール・ブリュット美濃展」で作品が展示されました。

今後の目標について教えてください

私と同じような状況だった親戚が、今は車を運転できるようになっています。その姿を目標に、自分もいつか車を運転できるようになりたいと思っています。これまで運転できなかった分、乗り回したいです。

読者の方へメッセージをお願いします

できないことだけで終わってしまうのではなく、今できることを大切にしながら生きていくことが大事だと思います。

私も3年前は車いすを使っていましたが、今はリハビリや訓練を続けながら、自分の脚で歩けるようになりました。車いすから立ち上がり、動ける左半身を使い、話せる言葉を駆使しながら今を生きています。





ABivan支援員から

いつも落ち着いていて、細かなことまで気が付いてくれる頼れる存在です。完成の形まで考え抜かれた緩衝材作りのプロです！



148件ものご応募、ありがとうございました！

本来は今回のC-fanで名前を発表する予定でしたが、たくさんのステキな名前が集まったため、もう一度みなさんに投票していただくことになりました！

応募方法

応募締切 12/13(日)

5体のキャラクター、それぞれの名前候補を4つの「テーマ」に分けています。このテーマの名前がいい！と思うテーマに投票してください。投票結果をもとに名前を決定し、C-fan Vol.11（2027年1月発刊予定）およびInstagramで発表します。

投票はこちらから



みどり	ピンク	あお
まぁるん	ももべる	きらりん
こころん	ぬくり	わーお
ころころ	にこにこ	うきうき
どり	もも	あお

「このお店は車いすでも利用しやすかった」「スタッフさんの対応が親切だった」「障がいのある子どもと安心して遊べた」そんな場所がありましたら、ぜひ教えてください。「うちのお店・施設も紹介してほしい！」という事業者様からのご応募も大歓迎です！

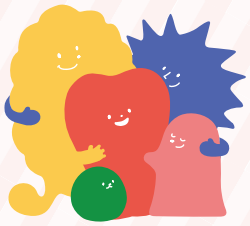
- 合理的配慮に取り組んでいる施設
- 地域のおすすめスポット
- 飲食店
- 商業施設
- 観光施設
- 公園
- イベント など

応募方法

右の応募フォームQRから読み取って施設情報とおすすめの理由をご応募ください。

応募フォーム

読者参加企画！

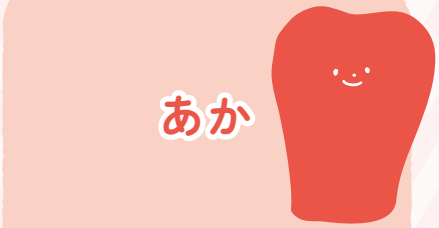


C-fanキャラクター決選投票開催！

こちらのテーマ番号で投票してね！



テーマ番号	テーマ	きいろ	あか
1	「形」から連想した名前	ふわり	はぁと
2	「気持ち」から連想した名前	るんるん	はぁてぃ
3	「音のひびき」から連想した名前	ふわふわ	ぽかぽか
4	「色」から連想した名前	きぃ	べに



みんなでつくるバリアフリーマップ！



おすすめの バリアフリー施設情報 まだまだ募集しています！

C-fanでは、読者の皆さんと一緒に、多治見市周辺の素敵な場所を見つけていきたいと思っています。

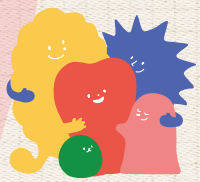
Cfan シーファン
Vol.10
情報更新中!
WEB版

一人で悩まないで、一緒に考えましょう。

相談無料　秘密厳守

Cfanなんでも相談室

暮らしのこと、家族のこと、仕事のこと、地域のことなど
福祉や生活に関することをどんな小さなこともご相談ください



あなたの「困った」「どうしよう」に寄り添う相談窓口です

あなたにあった次の一歩を一緒に考えます

「相談してもいいのかな」と迷うことこそ、なんでもお聞かせください

福祉・お仕事のこと
- 福祉サービス
- 学校・職場のこと
- ひきこもり

暮らし・住まいのこと
- 庭・草刈り
- 片付け・遺品整理
- スマホ・パソコン

お金・手続きのこと
- 相続
- 保険の見直し
- 年金・補助金

お店・会社のこと
- 人手不足
- IT・AI活用
- 集客課題

相談までの流れ

STEP 1　お問い合わせ・ご予約

お電話またはメールで
来訪・相談時間をご予約ください

電話　0572-26-7667

メール　soudan@c-fan.jp

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～16:00
窓口担当：吉田深雪
メールは24時間受付・ご返信は受付時間内

STEP 2　きく

まずはじっくりと
あなたのお話を
お聞かせください

STEP 3　整理する

今、一番
困っていることを
一緒に整理します

STEP 4　つなぐ

必要に応じて
地域の専門的なサービスを
ご案内します

STEP 5　見届ける

その後の様子を
必要に応じて
確認させていただきます

運営　C-POWER Group
C-POWERグループ本部
〒507-0025
岐阜県多治見市宮前町2-47-1

オンラインでの相談も可能です

詳しくはこちらから

一緒に「Cfan -シーファン-」を楽しみながら盛り上げてくれる

読者サポーター大募集!

登録は無料です

読者サポーターって何？

メディアづくりに関するアンケートや、情報提供、イベント参加や商品・サービスモニターなど、**一緒に「C-fan」を盛りあげていただく方々**のことです。

応募概要

- 障がい者・難病の当事者またはご家族の方（障害者手帳の有無は問いません）
- 企画にご協力いただける方
- C-fanからのメールを受け取れる方

読者サポーターへのご応募はこちら

「お問い合わせ」のアイコンから応募してください

スタッフ募集　C-POWERグループで一緒に働く仲間を募集しています！（募集職種：福祉部門・総務）

令和8年10月号（季刊）　制作・発行元／株式会社SMC-POWER　企画・編集／クリエイティブ事業部　〒507-0025 岐阜県多治見市宮前町2-47-1
設置・掲載に関するお問い合わせ…☎0572-26-7707

本誌を無断で複製することを禁じます

FREE ¥0